ふりがな　　ありよし　あきら

氏 名　　有吉 章

1. 学歴

1976 年　3 月　東京大学工学部卒業
1979 年 10 月　オックスフォード大学大学院経済学研究科入学
1981 年 10 月　オックスフォード大学 D.Phil.（経済学）学位取得

2. 職歴・研究歴

1976 年　4 月　大蔵省入省
1981 年　7 月　同省大臣官房調査企画課財政金融研究室研究官
1982 年　7 月　福岡国税局大牟田税務署長
1983 年　7 月　大蔵省国際金融局国際機構課課長補佐
1984 年　7 月　国際通貨基金アジア局エコノミスト
1987 年　5 月　同基金為替貿易管理局エコノミスト
1988 年　7 月　大蔵省銀行局特別金融課課長補佐（中小金融担当）
1989 年　7 月　同省銀行局検査部管理課課長補佐（総括）
1990 年　7 月　福岡国税局直税部長
1991 年　6 月　欧州復興開発銀行東欧局シニアエコノミスト
1993 年 11 月　同行調査局シニアエコノミスト
1994 年　7 月　大蔵省大臣官房企画官（銀行局銀行課担当）
1995 年　7 月　同省証券局証券市場課公社債市場室長
1996 年　7 月　同省証券局総務課調査室長
1998 年　8 月　国際通貨基金金融為替局局長補
1999 年　5 月　兼　同局為替市場制度課長
2000 年　7 月　金融庁総務企画部企画課長
2001 年　1 月　金融庁総務企画局企画課長（省庁再編に伴う名称変更）
2002 年　7 月　財務省国際局総務課長
2003 年　7 月　財務省副財務官
2004 年　7 月　財務省大臣官房審議官（大臣官房信用機構課，政策金融課担当）兼財務総合研究所次長
2005 年　7 月　財務省大臣官房審議官（国際局担当）
2005 年 10 月　国際通貨基金アジア太平洋地域事務所長
2010 年　4 月　一橋大学教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

International Financial Cooperation（商学部）

（b）大学院

Special Topics on International Financial Cooperation（商学研究科）

Macroeconomics: Theory and Policy（国際・公共政策大学院）

International Finance and Economy（国際・公共政策大学院）

Asian Economic Development（国際・公共政策大学院）

B. ゼミナール

大学院（国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム）

C. 講義およびゼミナールの指導方針

経済官庁・中央銀行職員として理論と政策のバランスのとれた知識と能力の涵養を目指す。

4. 主な研究テーマ

国際金融，国際通貨制度，金融規制

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書・編著

Capital Controls: Country Experiences with Their Use and Liberalization, co-authored with Karl Habermeier et al., International Monetary Fund, May 2000

『図説国際金融』，財経詳報社，2003 年 7 月（編著）

（b）論文（査読つき論文には*）

"Japanese Capital Flows", in *Finance and Development*, September 1988, pp. 25-28

"International Capital Mobility and Domestic Financial System Stability: A Survey of Issues" (co-authored with V. Sundararajan and I. Otker-Robe), in O.E.G. Johnson ed., *Financial Risks, Stability and Globalization*, International Monetary Fund, 2002, pp. 426-472

「国際公共財としての国際通貨制度の変遷」『ファイナンシャル・レビュー』第 75 号，2005 年 2 月，99-122 頁

「国際金融組織の機能変化ーIMF の機能と役割」『ジュリスト』第 1301 号，2005 年 11 月 15 日号，58-61 頁

"Asia: Shaping the Global Monetary Order", in *The Euromoney Asia-Pacific Capital Markets Handbook 2009*, September 2008, pp. 1-3

「アジア通貨危機とIMF・日本」コメント『国際経済』，2008 年 59 号，30-32 頁

「ユーロ改革の行方～財政統合なき通貨統合は存続可能か～」『金融』第 771 号，2011 年，3-10 頁

"Lessons Learnt, Lessons not Learnt, and Lessons to be Learnt: From the Asian Crisis to the European Crisis", in *Who will Provide the Next Financial Model ? Asia's Financial Muscle and Europe's Financial Maturity* , Eiji Ogawa and Sahoko Kaji (eds.), Springer, February 2013

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告・招待講演には*）

" Macroeconomic Lessons from Crises: Lessons Learnt and Lessons not Learnt" （The International Conference

of Joint Research Group " EU Economy" of EUSI，2010年12月）

「アジアの金融：アジア危機後の展開と国際金融危機後の課題」（一橋大学商学研究科シンポジウム「グローバル金融の新秩序とアジア金融・資本市場発展への期待　ー経済成長を支える金融システムの構築と日本の役割ー」，2011年2月）

*「ユーロの行方：欧州債務危機とユーロ存続の条件」（神戸大学金融研究会・六甲フォーラム，2011年10月）

"Lessons Learned, Lessons Not Learned, and the Lessons to be Learned: From the Asian Crisis to the European Crisis"（The International Conference of Joint Research Group "EU Economy" of EUSI，2011年12月）

*「ユーロ危機，日本国債とストレスシナリオ」（ジャパン・リスク・フォーラム，東京，2012年4月）

（d）研究集会オーガナイズ

ジャパン・リスク・フォーラム　（2012年4月18日）

6. 学内行政

（a）役員・部局長・評議員等

国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム　プログラム・ディレクター （2011年9月　－ ）

7. 学外活動

（b）所属学会および学術活動

日本金融学会

国際経済学会

（c）公開講座・開放講座

一橋大学政策フォーラム:国際的に広がる政府債務危機と金融不安:「国家債務危機と金融システム危機」（2012 年 2 月）

（d）その他

国連大学国際セミナー講義（2010 年 6 月）

TCER セミナー報告（2010 年 7 月 27 日）「欧州の債務問題について～原因と展望～」

" Lessons from Japan’s Bubble"（JICA-Vietnam Ministry of Finance Seminar，2012 年 7 月）

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

財務省IMF研究会委員（2010年6月　－　現在）

JBIC−インドネシア財務省　Financial Policy Dialogue　外部専門家（2011，2012年）

9. 一般的言論活動

"Asia: Shaping the Global Monetary Order", in *The Euromoney Asia-Pacific Capital Markets Handbook 2009*, September 2008, pp. 1-3

「アジア通貨危機と IMF・日本」コメント『国際経済』，2008 年 59 号，30-32 頁

「EU 内の支援体制，力不足」『日本経済新聞』，2010 年 44856 号，33 頁
「欧州危機打開の処方箋：支援体制強化以外道なし」『日本経済新聞』，2011 年 45143 号，25 頁
「なぜストレスシナリオの検討が必要なのかー国債危機を例として」『週刊金融財政事情』，2012 年第 63 巻 32 号，38-42 頁
「銀行同盟，EU の底力試す」『日本経済新聞』，2012 年 8 月 13 日，45447 号，17 頁